

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2006-31841 (P2006-31841A)

【公開日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2006-005

【出願番号】特願 2004-210346 (P2004-210346)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 7/24 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/258 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 3 8 C

G 1 1 B 7/24 5 2 2 P

G 1 1 B 7/24 5 3 8 E

G 1 1 B 7/24 5 3 8 F

G 1 1 B 7/24 5 4 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも第 1 の透明基板、第 1 の情報記録層、第 2 の透明基板、第 2 の情報記録層が順次積層されてなる多層光記録媒体において、

上記第 1 の情報記録層には、第 1 の再生信号の波長に対して反射特性を有するとともに、第 2 の再生信号の波長に対して透過特性を有し、かつ上記第 1 の透明基板より屈折率が高い半透明膜が 1 層以上に亘り形成され、

上記第 2 の情報記録層には、上記第 2 の再生信号の波長に対して反射特性を有する反射膜が形成されてなり、

さらに、上記半透明膜の膜厚の合計は、第 2 の再生信号の波長を  $\lambda_2$  とし、第 1 の透明基板の屈折率を  $n$  としたとき、 $m \times \lambda_2 / (4n)$  (但し、 $1.0 < m < 1.3$  であり、 $m$  は 1 以上の整数であること) で表されることを特徴とする多層光記録媒体。

【請求項 2】

上記半透明膜の膜厚の合計は、 $2 \times \lambda_2 / (4n)$  で表されることを特徴とする請求項 1 記載の多層光記録媒体。

【請求項 3】

上記第 1 の情報記録層には、第 1 の再生信号の波長 650 nm に対して反射特性を有するとともに、第 2 の再生信号の波長 780 nm に対して透過特性を有する半透明膜が 1 層以上に亘り形成され、

上記第 2 の情報記録層には、上記第 2 の再生信号の波長 780 nm に対して反射特性を有する反射膜が形成されてなることを特徴とする請求項 1 記載の多層光記録媒体。

【請求項 4】

上記半透明膜は、Si-H 化合物で構成されてなることを特徴とする請求項 3 記載の多層光記録媒体。

【請求項 5】

上記半透明膜は、屈折率が 3 . 0 以上であることを特徴とする請求項 1 記載の多層光記録媒体。

【請求項 6】

少なくとも第 1 の透明基板、第 1 の情報記録層、第 2 の透明基板、第 2 の情報記録層が順次積層されてなる多層光記録媒体において、

上記第 1 の情報記録層には、第 1 の再生信号の波長に対して反射特性を有するとともに、第 2 の再生信号の波長に対して透過特性を有し、かつ上記第 1 の透明基板より屈折率が高い半透明膜が 1 層以上に亘り形成され、

上記第 2 の情報記録層には、上記第 2 の再生信号の波長に対して反射特性を有する反射膜が形成されてなり、

上記半透明膜は、 $\text{Si-H}$ 化合物層、 $\text{SiO}_2$ 層、 $\text{Si-H}$ 化合物層が順次積層されてなり、上記 $\text{SiO}_2$ 層は、 $5\text{nm} \sim 20\text{nm}$ の膜厚で構成されることを特徴とする多層光記録媒体。